



## グローバル展開と地方創生の好循環による「持続可能な発展を導く科学」の実践

～Society5.0の実現とコロナ対策の進展に伴う新しい時代に適合した経営改革～



**【ガバナンスの強化】**

- ・ 全学一元化した教員組織「学術院」の設置 (平成28年～)
- ・ 「全学人事委員会」の下、教員人事の全学一元化 (平成28年～)
- ・ 世界有数大学のマネジメント手法の導入 (平成29年～)
- ・ 全学統一のKPI指標を活用した大学経営 (平成26年度～)
- ・ IR本部を中心とした大学経営におけるEBPMの推進 (令和2年～)

**【人事給与マネジメント改革】**

- ・ 若手育成助教制度 (令和元年～)
- ・ 新テニュアトラック制度 (令和2年～)

**【財源の多様化による財務基盤の強化】**

- ・ 広島大学が躍動し、広島のを活性化させる基金の創設 (平成29年～)

**【産学官連携の推進】**

- ・ オープンイノベーション事業本部を中心とした大型共同研究の推進 (令和元年～)

**徹底した大学改革により既に実現した成果**



# 経営改革を促進する広島大学の取組

## 取組① 国際的評価・認知度の向上と国際求心力の醸成

<ビジョン>、平和を希求する大学としてSDGsの達成やSociety 5.0の実現に向けて邁進する大学としての国際的評価を獲得し、認知度を高めることによって、世界的な求心力の発揮を実現する。

- 広島大学の平和に関する教育・研究・社会貢献をパッケージにしたPEACE PROJECTの充実とファンドレイジングのグローバル展開
- 平和と持続可能性を同時達成する超学際研究領域(Peace and Sustainability)の国際ネットワーク拠点NERPS(Network for Education and Research on Peace and Sustainability)による国際発信力・求心力の醸成



- |              |                       |
|--------------|-----------------------|
| ① 海外からの寄附受入額 | 令和3年度目標値 <b>1.5億円</b> |
| ② 広島大学基金の受入額 | 令和3年度目標値 <b>4億円</b>   |
| ③ 論文の国際共著率   | 令和3年度目標値 <b>38.0%</b> |

## 取組② 世界の有力大学との新たな連携モデル確立

<ビジョン>「アリゾナ州立大学/サンダーバードグローバル経営大学院－広島大学グローバル校」構想のもとで検討されてきた協同事業展開を加速し、世界の有力大学の持つ優れた経験とノウハウを効率的に移転する新たな連携モデルを確立。

- 平和研究/SDGs/Society 5.0に関するオンライン教材の協働開発と共同実施
- アリゾナ州立大学の躍進をもたらした各種革新的経営事業の日本での協働事業化に向けたロードマップの作成
- アリゾナ州立大学/テンピ市-広島大学/東広島市の4者連携モデルの確立
- 日米共同ファンドレイジング



アリゾナ州立大学(ASU)の広大グローバル校設置を文部科学大臣に報告



- |                               |                      |
|-------------------------------|----------------------|
| ① 世界有力大学と本学の学生が共同履修可能な授業科目数   | 令和3年度目標値 <b>5科目</b>  |
| ② ASU/広島大学 共同事業化に向けたロードマップの作成 | 令和2年度作成              |
| ③ 経常収益に対する寄附金収益割合             | 令和3年度目標値 <b>2.2%</b> |

## 取組③ SDGsやSociety 5.0実現に向けた広島大学モデルの展開

<ビジョン>大学経営とまちづくり・都市経営を連動させることにより多くの企業とも新たな連携を模索し、地方創生に向けた新たな産学官連携モデルを提示する。

- 教育・研究を通じた地域課題解決のための組織的・地域連携モデルの構築
- エビデンスに基づく大学経営のための学生情報システムの協働開発
- 世界の頭脳循環に参加するためのキャンパス・キャンパスタウンの整備計画策定
- IDEC機構によるSociety 5.0の国際展開を担う人材育成のための全学連携大学院学位プログラム



広島大学と東広島市が一体で取り組むまちづくり



- |                         |                      |
|-------------------------|----------------------|
| ① COMMONプロジェクトの立ち上げ件数   | 令和3年度目標値 <b>5件</b>   |
| ② 民間外部資金での直接雇用による事業参画人数 | 令和3年度目標値 <b>35人</b>  |
| ③ 共同研究受入 額              | 令和3年度目標値 <b>15億円</b> |

## 取組④ 「持続可能な発展を導く科学」を実践する世界的な教育研究拠点の構築の加速と新型コロナウイルス感染症対策の更なる進展による新時代に適応する教育研究改革

<ビジョン>「持続可能な発展を導く科学」を実践する世界的な教育研究拠点の構築を推進するとともに、コロナ対策をさらに進展させることにより、本学の教育研究を新社会様式に適合したものに変革する。

- 本学の先端研究拠点に変化・変革を求め、「新たな価値創造」を模索し、持続的に社会課題解決に貢献する研究拠点を新たに創出し、COVID-19感染拡大を含む地球規模課題等の社会ニーズとマッチングすることで社会実装につなげ、Society 5.0及びSDGsの達成に貢献
- 実社会に代わる仮想空間でのサービス提供により物質依存を低減させるための第一歩として、既存の学内コンテンツを可能な限りオンラインで統合し、将来の広島大学バーチャルキャンパス(e-HU)構築のための基盤整備を実施
- 全国に先駆け創設した応急学生支援金制度による経済的支援の取組を継続し、支援を必要とする学生・留学生が経済的な理由で学びを中断することの無いよう、社会的、経済的環境の激変に対して常に対応できる制度を構築
- 学生の短期留学プログラムSTARTやCOIL(Collaborative Online International Learning)などのオンラインによる海外大学と連携した教育の拡大



- |                            |                       |
|----------------------------|-----------------------|
| ① e-START/START+プログラム参加学生数 | 令和3年度目標値 <b>105人</b>  |
| ② 論文の国際共著率                 | 令和3年度目標値 <b>38.0%</b> |
| ③ 共同研究受入 額                 | 令和3年度目標値 <b>15億円</b>  |





# 広島大学における新型コロナウイルス対応

## 行動指針の策定・提示

全国で新型コロナウイルス感染が拡大する中、広島大学では学生・教職員の健康・安全を最優先に配慮して、教育研究機会をできる限り提供し、学生・教職員の教育研究活動を維持するため、大学の諸活動についての行動指針を策定。これは広島大学の学生や教職員が状況に応じて、適切かつ柔軟に活動する目安を示すためのものであり、病院の診療活動を除く全学に適用している。

**広島大学の行動指針 レベル1.5**  
(要注意) (一定程度の活動制限)  
マスクの着用をお願いします  
現在(2020年7月1日更新)

<b>授業</b> ○(原則オンライン)	<b>課外活動</b> △(段階的に再開)
<b>図書館</b> △(一部再開)	<b>学生入構</b> △(自粛)
<b>食堂・売店</b> △(一部再開)	<b>学外者入構</b> △(要事前連絡)

### ■ e-START/START+プログラム

平成22年度から実施してきた本プログラムに、新たに派遣を伴わないオンラインでの国際交流教育プログラム「e-START/START+プログラム」を追加開設し、全学実施。



### ■ COIL型教育の導入

COIL (Collaborative Online International Learning)型教育の導入を進めることで、本学学生に対し、通常の授業内でも海外学生との議論・交流の機会を提供。

### ■ オンラインオープンキャンパス

WEB上コンテンツによるオープンキャンパスの実施。

### ■ 対面授業の再開

令和2年度第3タームから3密対策を徹底した上で、全体の10%程度の科目で対面授業を再開することにより教育効果の向上を図る。

### ■ 知を鍛える - 広大名講義100選 -

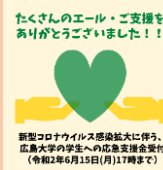
「知」を通じて「学び」や様々なことに興味をもっていただくきっかけとなることを目的として、本学の「面白い」授業を公開。日英両言語で配信中。



### ■ 「新型コロナウイルスの感染拡大に伴う応急学生支援金」

令和2年4月23日から全国に先駆けて募集受付開始、生活困窮学生に対し審査を行い、月額3万円を継続的に(何度でも)支援するもの。

寄附総額：66,211千円  
【令和2年6月現在】



## 学生の経済支援・生活支援

### ■ 主に学部新入生を対象としたケア及びキャンパス内での活動機会の提供

チューター・指導教員によるオンラインでの精神的なストレス軽減や学生生活上での不安解消などのケアを全学的に実施。7月からは3密を避け、小人数でのキャンパスツアー等の実施を開始。

### ■ クラウドファンディング「負けんけんね！ 広大」

新しい常識 (New Normal) に基づき、学生が安心して学業に励み、学生生活を送るため支援取組。寄附総額：3,110千円  
【令和2年7月現在】

### ■ COVID-19肺炎を"助かる病気にする"

COVID-19関連を含む急性呼吸不全に対する体外式膜型肺 (ECMO) 治療を集約的に実施、より有効かつ安全なECMOの適用方法を模索。

### ■ AMEDウイルス等感染症対策技術開発事業

全国で唯一、3研究支援分野(実証、改良、有効性確認)で採択され、事業を実施。

### ■ 3Dプリント可能な安価な人工呼吸器モデルの開発

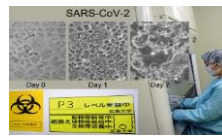
人工呼吸器不足を解消するために、安価な人工呼吸器の開発により臨床現場ニーズに答える開発を目指す。

### ■ 小分子RNA解析技術の新型コロナ診断・創薬へ応用

qRT-PCR法による診断の感度・特異度および簡便性を考慮に入れた診断技術の開発や創薬応用可能な遺伝子解析データベースの構築に取り組む。

### ■ 抗体取得によるワクチン開発・医薬創生を目指す

ウイルスに対し強力に結合する抗体遺伝子を体から取り出す技術や免疫反応を人工的に体外で起こす技術の開発に取り組む。



広島大学の観智結集「Coピースプロジェクト」

### ■ 広島大学CoVピースプロジェクト

医学・歯学・薬学・保健学の医療系の研究室が一丸となり、PCR検査体制の確立、ウイルス治療薬の探索、ウイルス検査方法の簡便化などの多方面のプロジェクトを進行。

